

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)		
事務事業名	みらいのアスリート応援事業	事業番号	12334
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒並びにその引率者
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	スポーツの分野において、日本国内並びに世界で活躍するみらいのアスリートを目指し、更なるレベル向上のため全道大会以上の大会に参加する市内の小中学生、中学生及び高等学校に在学する児童及び生徒に対して市が支援を行い、遠征費の負担軽減、児童・生徒の意識の高揚、地域で応援する機運の醸成を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	子育て世帯の保護者負担の緩和	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 みらいのアスリート補助交付団体数(年間)	25件	31件	28件	31件	31件		35件	35件
2 みらいのアスリート補助交付人数(年間)	180人	215人	227人	199人	172人		250人	250人
3 みらいのアスリート育成を図るための講習会・講演会の開催回数(年間)					1件		1件	1件
4								
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算
				5,000		4,217		5,000
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			5,000		4,217		5,000
	一般財源			0		0		0
人員(人工)				0.25		0.25		0.25
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)				1,920		1,920		1,920
総事業費(=事業費+職員人件費)				6,920		6,137		6,920
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				223		198		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				40		36		
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)				6,920		6,137		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成26年度にバス料金が値上げされたことにより、平成27年度から貸切バスの利用についても補助基準を設け、宿泊費については、1人1泊当たり5,000円を基準の上限としていたものを1,000円増額し6,000円とし、さらに補助率を1/2から2/3に拡充した。 平成28年度には少数での交通手段としてジャンボタクシーの利用についても補助基準を設けた。 平成30年度から補助金から助成金に変更、対象基準に自家用車等を追加、対象大会の拡大、対象者要件の代表権を撤廃、実施事業に講演会・講習会等の開催・体験機会の提供を追加した。
今後の動向・市民ニーズなど	全道・全国・国際大会に同一年度で複数回参加する個人・団体もあり、保護者負担が大きいいため、市からの支援を望む市民要望は、今後も続くと思われる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	本事業は、確実に保護者の負担軽減につながり、子供たちのスポーツ振興につながるとともに、スポーツ活動の継続性も期待できる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 少年期のスポーツ振興、子供の体力向上に向けた取り組みとして保護者負担の軽減は、市が行う必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 全道・全国・国際大会に同一年度で複数回出場する児童・生徒がいることから、助成金の交付を現在の年1回から複数回に拡充することで、一層の保護者負担の軽減を図ることができる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)		
事務事業名	根室市総合体育館建設基金積立金	事業番号	12640
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	スポーツ活動における幅広い市民・団体
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	総合体育館の建設に向け基金を創設し、建設に関わる将来負担へ備えるとともに、建設実現に向けた市民機運の醸成を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	総合体育館建設により、スポーツ振興の拠点が整備され、スポーツ活動における、より幅広い市民ニーズに応えることができる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 根室市総合体育館建設基金積立金		100,000千円	101,000千円	100,471千円	100,000千円		500,000千円	1,000,000千円
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		100,000		100,000				
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	100,000		100,000				
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)		100,000		100,000				
単位コスト実績値1(=総事業費÷成果実績値)				1		1		
単位コスト実績値2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	現在、総合体育館の役割を担っている青少年センター(青年の家に該当する施設)は昭和45年に建設され老朽が著しく、新総合体育館の建設は必要であり、その準備のための基金を積み立てる必要がある。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	スポーツの拠点となる総合体育館建設に伴い、スポーツを通しての健康志向の高まりや競技水準の向上など、多様化する市民ニーズに応えることが期待できる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 「市民一人1スポーツ」を推進するためには総合体育館が必要であり、総合体育館建設には多額の一般財源が必要であることから、その建設準備のための基金を積み立てる必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 市民要望の高い総合体育館に要する経費の財源の確保並びに市民の機運の醸成を図る。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 利用する補助制度が確定していないため、財政措置を検討して参りたい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 総合体育館は市民誰もが利用できる施設である。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 建設準備のための基金を積み立てることで、急激な財政負担を緩和させる。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり(H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)		
事務事業名	シーサイドマラソン開催事業	事業番号	12686
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民・全国から訪れるマラソン愛好者
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市民の健康の保持・増進や体力の向上、心身の健全な発達を推進するとともに、全国から訪れるマラソン愛好者と交流し、根室の魅力を発信し、北方領土返還への世論喚起を醸成するなど、交流人口の増大と市中経済の活性化に寄与する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	市民健康マラソン大会を充実・発展させた「最東端ねむろシーサイドマラソン」を継続開催することにより、目標参加者を1,250人とする。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 最東端ねむろシーサイドマラソン参加者数				956人	966人		1,000人	1,250人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		9,629		9,218		10,278		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	9,625		9,215		10,275		
	一般財源	4		3		3		
人員(人工)		1.00		1.00		1.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		7,679		7,679		7,679		
総事業費(=事業費+職員人件費)		17,308		16,897		17,957		
単位コスト実績値1(=総事業費÷成果実績値)		18		17				
単位コスト実績値2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	第1回最東端ねむろシーサイドマラソンのコースは、オホーツク海を望む根室半島線を折り返したが、交通規制によりコース沿道での声援が少なかったため、第2回最東端ねむろシーサイドマラソンのコースは、太平洋とオホーツク海を望むと共に、市内住宅地も走るコース設定としたことにより、多くの市民から声援を受けて疾走できるようになった。 第3回最東端ねむろシーサイドマラソンのコースは、5kmコースの一部変更に留めた。
今後の動向・市民ニーズなど	大会開催日の8月第3日曜日は、時節柄、漁業(コンブ漁等)の最盛期や、夏観光シーズンの繁忙期であるため、道路交通規制による多くの市民や来根者の方へご迷惑をお掛けするため、最小限の道路交通規制とする必要がある。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	過去に35回開催された北方領土ノサブ岬マラソンの最高申込者数は785人だった。 一昨年の第1回最東端ねむろシーサイドマラソンの申込者は1,039人を数え、開催当日の参加者は956人で、昨年の第2回最東端ねむろシーサイドマラソンの申込者は1,053人を数え、開催当日の参加者は966人となった。微増ではあるが、申込者が14人増え、開催当日の参加者も10人増えている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市が事業の主催者を担い、実行委員会が主管するシステムが現在の当市としてベストである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続(□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり(H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月